

外部との連携

環境パートナーシップ・CLUBへの参加



環境パートナーシップ・CLUB（EPOC）は、中部地域の産業界が中心となり業種・業態の枠を超えて環境負荷低減活動などに関する研究、交流、実践、そして情報発信を行うことにより「循環型経済社会」の構築を目指して2000年2月に設立され、多種多様な活動に取り組んでおります。

サンゲツは、EPOCの設立趣旨に賛同し、活動に参加しています。

環境パートナーシップ・CLUB概要

設立の目的

産業界の環境オピニオンリーダーが中心となり、エコ・エフィシェンシー（環境効率性）の実現を追求するとともに、中部圏から環境対応に関するさまざまな情報を発信し、世界に誇れる環境先進地域の形成と安全かつ快適な「循環型経済社会」の構築を目指します。

- 環境行動の社会への浸透活動
- 環境マインドに溢れた社会風土づくり活動
- 環境行動に関する情報発信活動
- 環境行動に関する国際交流活動

2030年ビジョン

「環境のわざ」と「パートナーシップ」を活かして持続可能な経済社会の実現へ

企業が培ってきた環境のわざ（成果）を活かして、「低炭素」・「資源循環」・「自然共生」を相互に協調させた「持続可能な経済社会」の構築を目指す。

- 環境経営の実践と会員間の連携強化により、
 - ・産業界全体の更なるレベルアップを図る。
 - ・事業活動を通じた環境・社会課題の解決、技術革新、イノベーション創出を推進する。
- 会員以外の企業や市民・学校等、地域との交流や情報発信により、環境行動の契機を提供する。



一般社団法人サステナブル経営推進機構への参加

当社は、一般社団法人サステナブル経営推進機構（SuMPO）が運営する「SuMPO 環境ラベルプログラム」に参加しています。このプログラムへの参加の目的は、当社が提供する床材製品において、原材料調達から製造、流通、使用、廃棄に至るまでのサプライチェーン全体を含めたライフサイクルの環境負荷を、客観的かつ定量的に開示することにあります。この取り組みにより、低環境負荷商品の選択肢を顧客の皆様に分かりやすく訴求するとともに、サプライチェーン全体での環境負荷の把握と削減の推進を図っています。